

令和4年度 第1回 金沢市歴史まちづくり協議会

日 時：令和4年10月17日（月） 午前10：00～11：30

会 場：金沢市役所第一本庁舎7F 第3委員会室

出席委員：宇佐美委員、川崎委員、得田委員、新田委員、馬場先委員、山崎（達）委員
山崎（幹）委員、竹内委員（代理：田中氏）、能登委員（代理：山氏）
辻江委員（代理：安氏）、東委員、鳥倉委員、山森委員、坂本委員

事務局：歴史都市推進課 本光課長、土田担当課長、村井課長補佐、
浅沼係長、向井主査、松村主査

1 開 会

2 議 事

金沢市歴史的風致維持向上計画（第2期）の中間評価(素案)について・・・資料1

3 閉 会

議事

金沢市歴史的風致維持向上計画（第2期）の概要

～事務局より説明 [(資料1) の説明 2～11頁] ～

(馬場先委員)

[(資料・別紙) 8頁・様式3 移動利便性の向上] について、まちなりの有料化により料金の負担が増えたことで影響はないのか。観光客は、料金が上がっても便利であると思う。これまでは地域住民が通勤の際に無料で利用していたが、有料化になった。計画策定には直接関係ないかもしれないが、観光客が主体となっていくそうだなと思っていたところ、コロナ禍になり、影響が出ているのではないかと思う。その辺りの考察はしているのか。

(事務局)

まちなりは、当初よりも利用料金が上がっている。一方で、ポート数が増え、利用範囲が広がった。以前は観光客の利用が圧倒的に多かったが、コロナの影響もあり、地域の身近な場所にポートができたことで、地域住民がかなり利用するようになった。

利用回数も前回のバージョンに比べて、増加していると聞いている。前のシステムでは、ポート数を増やすことに限界があったが、システムがバージョンアップしたことで、ポート数が爆発的に増えた。これまでは、観光客の利用が多かったが、地域住民の利用も増え、観光客の利用も相乗的に増えたという実情がある。

(川崎委員)

波及効果で、金沢町家の登録数は波及効果といえるが、町家相談件数は波及効果と言えるのか。どのような相談があるのか。空き家、相続、老朽化の場合は、波及効果とはいえない範疇であり、それによって相談件数が増加していると思われるがいかがか。

(事務局)

相談件数については、[(資料 1) 10 頁・グラフ] に示すように増加している。波及効果としたのは、町家の保全、活用の実績が目に見えて増えているからである。実績を見た人が、修繕したいなどの窓口での相談件数が増えている。

町家を所有している県外在住のご子息が、お盆の時期に墓参りで帰省した際に、自分の近辺で町家の保全や活用が増えていることに気づき、そこから相談につながっている。また、空き家の町家に町家情報館の案内をポストに投函し、町家情報館にも連絡がいくようになった。町家の保全、活用の実績を踏まえて、それらを見た人の相談件数も増えているため、波及効果として取り上げた。

(新田委員)

小さなグループが町家などの小規模な場所を借りてイベントを行っている。安価で借りやすい形になっているのか。

(事務局)

小規模での補助は少ない、文化ホール規模の会場を借りる際の補助は文化政策課にある。小規模での補助は調べておく。

金沢芸術創造財団という市の文化事業を行っている外郭団体があり、今年の夏に、アーツカウンシルという様々な小規模のグループがイベントを行う際の相談窓口を設けた。大きな助成制度はないが、個人グループ、個人向けの助成制度があることのご案内や、広報活動の支援を今年度から始めている。窓口で相談すれば、支援ができる体制になっている。

(山崎(達) 委員長)

町家の利活用について、市民活動の範囲でリンケージできるかどうかの質問だったと思われる。それに対して、財団での取り組みを一つのケースとして示してもらった。このことは、歴史まちづくり協議会を取り巻く周辺の動きかもしれないが、市の動きを意識したり、触れたりすることにつながるため、何らかの形で盛り込んでみてはどうか。

(事務局)

指摘の通り、歴史的風致の中に周辺を取り巻く活動で含まれると思う。ご意見を頂いたので、盛り込めるように検討していきたいと思う。

(安委員)

〔(資料・別紙) 5 頁・様式 2 III 歴史的建造物の周辺環境の保全〕の多言語化事業とあるが、伝建地区内の文化財の説明看板に二次元コードを表示し、そこから多言語に辿りつけるような取り組みをしていたと思う。それも同じように位置づけてもよいのではないか。

(事務局)

指摘の通り、含まれる。限られたスペースのため、先程の意見も踏まえて盛り込めるものを精査し、検討する。

～事務局より説明 [(資料 1) の説明 12~25 頁] ～

(馬場先委員)

〔(資料・別紙) 12 頁・様式 5 1 金沢城・兼六園に見る歴史的風致〕②維持向上の経緯と成果の〔伝統行事、伝統文化及び工芸技術の継承、後継者の育成〕で、「加賀宝生子ども塾」はこの項目に入れる必要はないのではないか。鼠多門等の修復技術に関わる職人大学校を主体に記載した方がよいのではないか。この箇所に記載した意図を伺いたい。

(事務局)

指摘の通り、職人大学校の修復技術のことを記載した方が適切だと思った。頂いた意見を踏まえて修正、検討をしていきたい。

(山崎(達)委員長)

伝統行事、伝統文化及び工芸技術の継承、後継者の育成というように盛り込みすぎているので、金沢城の復元に絞って整理してみた方がよいのではないか。

(事務局)

〔計画書 53 頁・1 金沢城・兼六園に見る歴史的風致〕には伝統行事、伝統文化について記載されている。そのため、中間評価シートにも反映させようと思い、記載した。指摘の通り、職人大学校の修復技術の方が適切だと思ったので、追加する。

(山崎委員長)

国の仕様はしぼりがあり苦勞していると思うが、記載内容については整合がとれるように検討してほしい。

(馬場先委員)

カラスの糞害が問題となっている。街中の城郭の大きな森で巣作りをし、周辺の歩道がカラスの糞で白くなり、歩道を歩きたくなくなる。様々な対策に取り組んでいる

と思うが、城内のカラスの数を減らさないといけないと思う。カラスの糞害は直接歴史的風致に関わらなくても、間接的には周辺の地域の風致に影響を及ぼすと思う。庁内全体で考えていただかないと問題解決しないままである。解決のために歴史的風致に今後の課題として考えていただけたらと思う。

(事務局)

歴史的風致の中には、景観的な意味合いも含まれるので、馬場先委員の言う通り、カラスの糞害を庁内の関係課と連携して取り組まなければならない重要な課題だと思う。歴史的風致維持向上計画に表立って取り上げることは難しいかもしれない。生態系の問題もあるが、金沢城址に大きな森から追い出しても別の場所に逃げて、そこで巣作りをするという繰り返しになるので、絶対的な解決は難しいと聞いている。カラスの糞害についての記載は関係課と話して検討する。

(馬場先委員)

最終的には歴史的風致に大きく影響を及ぼす懸念事項だと思う。

(山崎(達)委員長)

カラスの糞害の記載は難しいかもしれないが、意識することが必要だと思う。

(事務局)

〔(資料・別紙) 24 頁 様式 7 住民評価・協議会意見シート〕の②協議会におけるコメントに歴史的風致を形成している金沢の特長である街中にある豊かな緑を取り巻く環境として、カラスの糞害の問題があることを課題として付け加える。

(山崎(幹)委員)

〔(資料・別紙) 10 頁 安江町界限整備事業〕の整備前と整備後の写真は同じ場所なのか。写真だけ見ると、開渠事業を行ったことはわかるが、整備前に町家取り壊し、マンションを建てているように見えるので、この写真でよいのか。

また、本文の【目的】の 5 行目に誤字がある。

(事務局)

整備前の写真で、鉄板が敷かれている箇所が用水となっている。整備前と整備後の写真は同じ場所、方向で撮影している。整備前の写真では町家風の建物が残っているが、再開発区域のため、町家風の建物を取り壊して、マンションを建てた。民地側の用水沿いであるが遊歩道を設置し、散策できるように、官民共同で行われた。

(山崎(達)委員長)

掲載写真に簡単なキャプションがあると良い。

(安委員)

安江町界限整備事業による、用水景観保全のための開渠化は良いと思った。しかし、この事業がどのような意図で整備されたのかは市民に伝わっていないと思われる。事業内容を伝えるようなツールや説明するものはあるのか。

(事務局)

近くにある升形を復元整備した説明はあるが、用水に対しての説明板などは無い。

(安委員)

升形の復元との連携を表現することもありだと思う。開渠化した用水は、当時の水路とは違うと思うが、復元した升形とつながりが無いのはもったいないと思う。

(事務局)

升形については、今後も整備しなければならないところがあるので、そこと併せて用水の方も対応していきたいと思う。

(安委員)

〔(資料・別紙) 12 頁 1 金沢城・兼六園に見る歴史的風致 ②維持向上の経緯と成果〕の「歴史的建造物の積極的な保全と活用の鼠多門、鼠多門橋の復元整備」の箇所
で、文化庁でいう復元は失われた歴史的建造物を同じ場所、同じ規模で、同じ素材で
再建することを指す。鼠多門はそのように復元されているが、鼠多門橋は、高さの条
件や強度の問題で物理的に復元が難しいことから正確には復元にはなっていない。

「鼠多門、鼠多門橋の復元等の整備」のような表現が妥当だと思う。

〔(資料・別紙) 19 頁 8 街路・用水に見る歴史的風致〕の「土清水塩硝蔵跡の復元
整備」という表現があるが、ここも正確には当時と同じように復元はされないので、
「遺構整備に向け」という表現が妥当だと思う。

〔(資料・別紙) 20 頁 9 茶の湯文化が育む歴史的風致〕の②維持向上の経緯と成果
では「重要文化的景観」の構成要素」とあるが、重要文化的景観の構成要素は通常
不動産のものであるため、ソフト的な構成要素としてはどうかと思う。計画の中にも
そのような表現は無かったので、計画に準拠して中間評価シートも記載した方が良く
と思う。

〔(資料・別紙) 16 頁 5 旧町人居住地に見る歴史的風致 ①歴史的風致の概要〕で「旧
二俣越」と記載されているが、旧北国街道、尾張町界限、安江町界限は、城下町区域
で重点区域の中にあるが、旧二俣越の大部分は富山県境にある街道であるから、記載
は無くてもよいのではないか。

また、〔②維持向上の経緯と成果〕で、歴史的街並みの保全は、観音町通り無電柱
化事業と記載されているが、〔③自己評価〕では下新町通りや旧北国街道の無電柱化
事業と記載されており、食い違いがある。

(事務局)

指摘の箇所については、別途打合せさせて頂きたい。修正していく。

(山崎(達)委員長)

1月には、協議会での意見やパブリックコメントも含めて提出案が出来上がる予定である。そのための修正作業等は事務局にお願いする。後から出てきた課題や細かい訂正については諮る必要はなく、事務局に一任する。何か必要があれば事務局の方から各委員に紹介するなり、重要なことがあれば書面で追認をもらう形で対応をお願いする。

(安委員)

〔(資料・別紙) 25頁 様式8 全体の課題〕の市内に残る石垣については、中間評価までの過程がわかりにくい。

(事務局)

石垣については、第2期計画の新しい観点として記載した事業である。実情は非常に課題が大きく、条例を制定する話もあつたができていない。今回の中間評価では、触れないわけにはいかないのので、全体の課題として、市が所有しているものに関しては積極的に残していこうという文言を記載し、石垣の所有者の意識醸成を図っていこうと考えている。計画の中で実際にできるかは謳う状況ではないので、課題という形で記載した。

(川崎委員)

石垣に関しては、行政の方が検討されたり、委員会に諮られたりはしていないのか。

(事務局)

条例を制定するかどうかの検討を行ったが、実際に条例を制定したあとに何を行うのかが明確にならなかった。検討の段階で止まっている。

(安委員)

21世紀美術館の近くの西外惣構の石垣を修復しようとしているはずであつたが、これは含まれないのか。

(事務局)

私有の石垣と明確に記載するとかなり厳しい部分があり、先程も申した条例制定も含めて検討したが、安全を確保し、国土交通省の規定で石垣を復元しようとするとならぬ敷地の敷地を削ってしまうという大きな課題があり、難航している。

あえて、公が所有している石垣を中心に今後保全に向けて努めていくという表現にしている。これまでの過程を踏まえた解決策を練っていないので、もう一度内部で検討する。

(新田委員)

金沢は2つの川と3つの台地からなる特徴的な景観となっており、金沢は歩いて楽しむ街だと思う。寺町から犀川に下りる坂が沢山あり、坂を綺麗に整備し周遊することで魅力が広がるのではないかと。

(事務局)

金沢の地形的特性が顕著に表れている坂道は、魅力ある景観である。旧桜坂の折り返しの場所の眺望が良いことから新聞にも取り上げられていた。坂道にもまだ可能性があると思われる。来月、歴史都市推進課で寺町台の坂道を案内する坂道ウォークという取り組みがある。

(山崎(達)委員長)

市民と一緒に歴史まちづくりをしようということだが、意見にもあったが、多岐に渡って金沢市が様々な事業を行っていることは、市民にはあまり知られていない。今後はソフト的なこととしてPRを行い、広く浸透してさせていくことで、今後の事業がやりやすくなるのではないかと思う。それらも含めて協議会の中で、ご意見を頂き、市に主導してもらい、全市的な取り組みとなっていく流れにしていかなければならないと考えている。

本日の協議会は大変有意義なご意見があった。また我々もそれらを踏まえて対応していき、取り組みに対して協力や自覚をしていきたいと改めて思った。本日は、中間評価(案)については、異議無く了解をしたという形で、事務局にお返りする。

(事務局)

様々な観点の意見を素案に反映させ、パブリックコメントを年内に行うことを考えている。その後、1月末にパブリックコメントの結果も含めた暫定版という形で国に提出する。第2回の協議会については、国に提出した暫定版を諮りたいと思っている。また、毎年行っている計画のローリングや進捗確認も諮りたいと思っている。2月中旬頃を予定おり、日が近づいたら改めてご案内する。

閉会